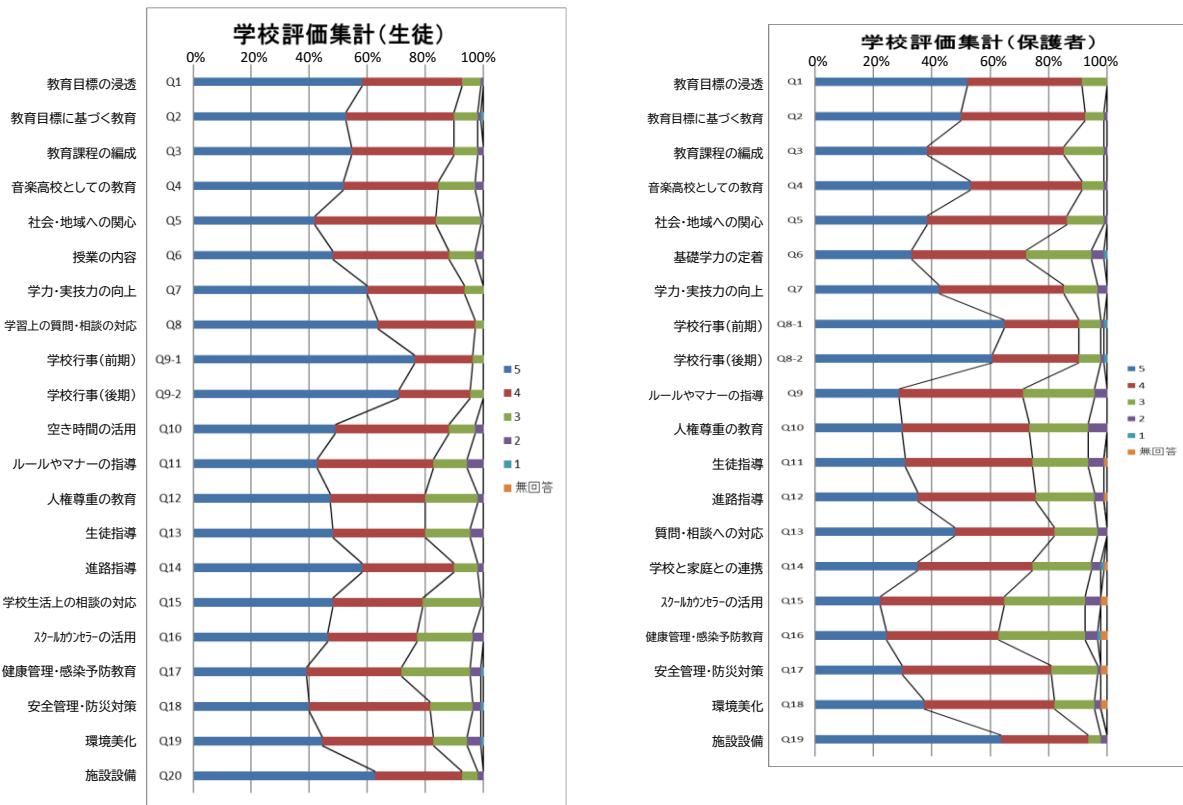


令和6年度「学校評価アンケート」結果(令和6年12月実施)

5:たいへんそう思う 4:そう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない



今年度、これまでの学校評価アンケートの項目について見直しを行い、生徒用は27項目から20項目に、保護者用は23項目から19項目に整理して、実施いたしました。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。ここに、アンケート結果をお伝えいたします。皆様からいただいたご評価を教職員全体で真摯に受け止め、来年度の教育活動に生かしてまいりたいと存じます。

まず、全体としましては、次の①・②から、生徒のみなさんは本校での学校生活に概ね満足しており、保護者の皆様におかれましても、概ね好意的に捉えてくださっていると受け取っております。(R5との比較は、共通項目について行いました)

①全項目の「5. たいへんそう思う」の割合で見ると、

[生徒]平均52.6%…R5平均:41.3%から10ポイント以上、上回っている。

[保護者]平均:40.1%…R5平均:20.0%から倍増している。

②全項目の「5. たいへんそう思う」「4. そう思う」の合計の割合で見ると、

[生徒]平均:86.6%(R5平均:83.2%から3.4ポイントUP)

下位3項目を除くすべての項目で80.0%以上、うち、上位5項目(Q1,7.8.9.20)は90.0%以上である。

[保護者]平均:80.8%(R5平均:67.1%から13.7ポイントUP)

R5と比較して、共通するすべての項目で割合が増加している。

次に、各項目について、「5. たいへんそう思う」「4. そう思う」の合計の割合から見てみます。

(1)R5年度から教育目標を「『人とつながる音楽家』の育成」と改め、教育活動を展開してきたが、「Q1 本校は教育目標をわかりやすく伝えているでしょうか」の経年変化を見ると、[生徒]R4:87.7%→R5:90.4%→R6:92.7%、[保護者]R4:84.3%→R5:83.6%→R6:91.5%と、いずれも90%以上に上昇しており、生徒・保護者ともに新・教育目標が浸透していることがうかがえる。

(2)「生徒の健康管理や感染予防等の予防教育の取組が行われているでしょうか」(生徒71.8%・保護者62.8%)と「本校は、スクールカウンセラーに相談しやすい環境を整えているでしょうか」(生徒77.3%・保護者64.9%)の2項目については、保健室や担任からの啓発や周知・案内に関して、働きかけの強化や工夫をさらに検討していくべきと考える。

(3)生徒の「Q8 先生方は質問や相談に丁寧に応じてくれていますか」は97.2%であるのに対し、「Q15 学校生活において、先生に気軽に相談できますか」は79.1%と開きがある。学習や実技等においては、生徒は教職員に質問・相談できているが、学校生活上の事柄についても一層相談しやすいよう、見守りや多くの教職員からの声掛けを行い、寄り添いの姿勢を見せていただきたい。

(4)保護者の「Q9 日常生活のルールや社会のマナーについて十分な指導が行われているでしょうか」「Q10 いじめを許さない等、人権尊重の精神を育成する教育が適切に行われているでしょうか」「Q11 生徒を理解したうえで、しっかりととした生徒指導が行われているでしょうか」「Q12 お子様が将来の進路目標を考えたり、その実現に向けて取り組んだりするにあたって、教職員は支援しているでしょうか」の4項目は、R5で55~65%だったものが65~75%に大きく上昇している。生徒の学校生活や人としての生き方・在り方に関わる指導について、よりよい指導を目指すとともに、保護者の皆様との丁寧な連携や発信の工夫等にも取り組んでいきたい。

最後になりましたが、「自由記述欄」にも多数ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。一つ一つのご意見をしっかりと受け止め、来年度の教育活動に生かしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。